



Madrid 2008  
41<sup>st</sup> Annual Meeting  
Board of Governors  
Asian Development Bank

# News Release

ASIAN DEVELOPMENT BANK

## アジア・太平洋の最貧国向け支援の次期「アジア 開発基金」の財源総額 113 億ドルに

【マドリッド、2008年5月3日】 アジア開発銀行（ADB）は、当地における[第41回年次総会](#)を翌日に控えた2日、アジア・太平洋地域の低所得国を対象とした無償援助や低利の融資の財源である「[アジア開発基金](#)」（ADF）の次期（2009-2012年）拠出総額を113億ドルとすることで合意した。同拠出額は、前期（2005-2008年、70億ドル）比で60%以上増となる。

ADBの黒田東彦<sup>はるひこ</sup>ADB総裁は、「ドナー各国のご厚意による拠出は、アジア・太平洋地域の国々が、[国連ミレニアム開発目標](#)を達成し、最貧国に暮らす人々にもよりよい機会と明るい将来をもたらすための支援となる」と述べた。アジア・太平洋地域でADFの対象となっている最貧国において、一日2ドル未満の生活費で暮らす人々は4億人いるとされ、ADFは、域内の特に貧しい国を対象としたグラントや低利の融資の財源となっている。

道路、きれいな水と衛生、電力網、その他の基本インフラは、貧困層の暮らしを向上し、経済成長を加速させるものであり、引き続き同基金による支援のかなめとなっている。

ネパールのビッダダール・マリック財務次官は、「わが国のように貧しい人々への支援が急務の国にとっては、ADFの支援は、重要な支援の一つだ。今回、国際援助社会が、ADFの財源の大幅増加に合意し、交渉が成功裡に終わったことに深く感謝したい」としている。

---

### お問い合わせ先

駐日代表事務所  
広報担当：望月 章子  
T: +81 3 3504-3441/3160  
E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADBのニュースリリース（和文）は、下記URLにてご覧いただけます。  
<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

ADF はまた、域内における地域協力・統合の促進の他、灌漑システム、地方道路、地方金融に対する資金援助を通じて、農業セクターを引き続き支援する。これに関して黒田総裁は、「アジアでは子供の栄養失調が幅広い地域に及んでおり、世界的な食料価格高騰によって、各国が得てきた貧困削減の成果までもが後戻りしかねない。地方のインフラと金融の整備に対する支援が極めて重要だ」と述べた。

また将来的には、同基金の資金の大半が教育関連の業務に向けられる見通し。これについて、黒田総裁は、「教育は若い世代の成長と国家の発展の鍵となるものであり、今、教育に投資することがいずれ何倍にもなって返ってくる」としている。さらに、気候変動による影響の緩和をはじめとする環境対策にも、ADFの資金が利用される。

---

**お問い合わせ先**

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADB のニュースリリース ( 和文 ) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>